

|       |              |        |        |
|-------|--------------|--------|--------|
| 講義名称  | 文章表現法        | 担当教員名  | 三成 清香  |
| 科目群   | 必修(REQ)      |        |        |
| 科目区分等 | 必修科目 CA4 DI2 | 単 位    | 2      |
| 対象学年次 | 1年・春学期       | ナンバリング | REQ181 |

|               |  |
|---------------|--|
| 授業のキーワード      | 日本語運用能力 表現力  |
| 授業の概要         | 本講義では学生としてまた社会人として求められる「日本語力」を養うことを目的とし、「日本語」をとらえなおします。日本社会におけるコミュニケーション能力の向上を目指します。                     |
| 期待される学習成果(目標) | 1. 日本語の基本を学び、より適切に運用できるようになります。<br>2. 日本語について関心を持ち、自らの言葉に意識が向けられるようになります。<br>3. 大学で必要となる「書く力」を養うことができます。 |

| 授業展開 |                     |   |
|------|---------------------|---|
| 回    | テーマ                 | 内 容   |
| 1    | オリエンテーション           | 授業の進め方、評価方法、この授業の意義について説明します。               |
| 2    | 「文法」と日本語の構造①        | 日本語の品詞と活用を整理しよう。                            |
| 3    | 「文法」と日本語の構造②        | 接続、文のねじれ、助詞など、日本語の組み立て方を整理しよう。              |
| 4    | 「文法」と日本語の構造③        | 接続、文のねじれ、助詞など、日本語の組み立て方を整理しよう。              |
| 5    | 「表記」の注意点            | 送り仮名や仮名遣いについて、正式な書き方を知ろう。                   |
| 6    | 「漢字」の持つ要素①          | 熟語の構成や部首のもつ意味について知り、語彙を増やそう。                |
| 7    | 「漢字」の持つ要素②          | 創作漢字を作る活動を通して、漢字の部首や意味について改めて考えよう。          |
| 8    | 「漢字」の持つ要素③          | 同音異義、同訓異字、四字熟語について学び、表現の幅を広げよう。             |
| 9    | 「語彙」の様々な関係①         | 言葉の成り立ちから、類義語・対義語まで、一つ一つの言葉に注目し、その違いを知ろう。   |
| 10   | 前半のまとめ<br>レポートの書き方① | これまでの振り返り。<br>レポートを書く際に注意すべきこと①(文体・パラグラフ等)。 |
| 11   | レポートの書き方②           | レポートを書く際に注意すべきこと②(出典の明記・引用の方法等)             |
| 12   | 「語彙」の様々な関係②         | 会話や文章の中で、語彙の選択がどのような効果をもたらすかを考えよう。          |
| 13   | 「敬語」①               | 尊敬語、謙譲語、丁寧語といった敬語を整理しなおし、それぞれの働きを考えよう。      |
| 14   | 「敬語」②               | 敬語の正しい使い方を学ぶことで、日本社会で求められている「言葉遣い」を知ろう。     |
| 15   | まとめ                 | これまで学んできたことを振り返ろう。                          |

|                     |   |
|---------------------|---|
| 定期試験                | 筆記試験(持ち込み不可)                                    |
| 授業時間外学習             | 授業を受講した後は、教科書やノートを見直して復習しましょう。                  |
| 評価方法                | 授業貢献度50%(小テストを含む) 試験50%                         |
| 使用する教科書(必ず購入してください) | 必要に応じてプリント・ワークシートを配布します。<br>参考書も必要に応じて紹介していきます。 |
| 参考文献                |   |